

## 週報

## 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 29年																								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~5日	11月 ~12日	11月 ~19日	11月 ~26日	12月 ~3日	12月 ~10日
カンピロバクター	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	18	28	34	29	22 (25)	20
病原性大腸菌	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	18	21	18	16	19 (26)	19
腸管出血性大腸菌	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0
サルモネラ	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	4	8	4	0	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	4	1	4	0	5	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	3	4	5	3	2	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	2	0	1	0	1	0
ロタウイルス	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0
ノロウイルス	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	0	0	2	5	5	3

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成29年第49週(12月4日~12月10日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11			3		2	1	5
三類	0	発生なし	0							
四類	6	つつが虫病	5	1				4		
		レジオネラ症	1							1
五類全数	9	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1			
		侵襲性肺炎球菌感染症	2				2			
		梅毒	6			1		3	1	1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第49週 12/4～12/10)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり4.11人と、前週の約1.9倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が3件報告されており、注意が必要です。ワクチン接種や手洗い、咳エチケットの励行などで感染予防に努めましょう。

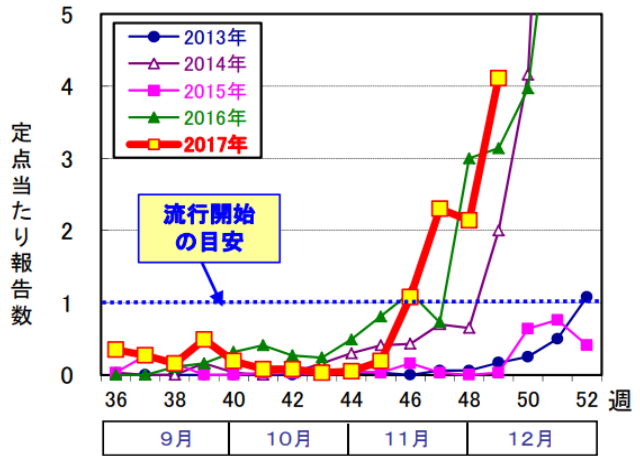
2. 梅毒

3件の報告があり、今年の累計は56件となりました。梅毒は、性的な接触(感染部位と粘膜や皮膚の直接接触)により感染します。感染後は、感染部位にしこりができたり、リンパ節が腫れたり、全身に「バラ疹」と呼ばれる赤い発疹が出たり、様々な症状が現れ、症状が軽快しても、治療をしない限り完治はしません。感染が疑われる症状が見られた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

3. つつが虫病

4件の報告があり、今年の累計は14件となりました。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	152	4.11	1.10		急増	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.75		横ばい
	咽頭結膜熱	12	0.50	0.57		横ばい	RSウイルス感染症	13	0.54	0.84		横ばい
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	2.79	2.51		横ばい	急性出血性結膜炎	-	-	0.08		横ばい
	感染性胃腸炎	206	8.58	13.01		急増	流行性角結膜炎	6	0.75	0.58		横ばい
	水痘	11	0.46	1.04		横ばい	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		横ばい
	手足口病	9	0.38	0.39		横ばい	無菌性髄膜炎	-	-	0.03		横ばい
	伝染性紅斑	2	0.08	0.28		横ばい	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.31		横ばい
	突発性発しん	11	0.46	0.34		横ばい	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		横ばい
	百日咳	-	-	0.02		横ばい	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		横ばい
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.06		横ばい						

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	131	男性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人
4	つつが虫病	4	14	女性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・2人、女性(80歳代)・1人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	7	男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
5	梅毒	3	56	男性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・2人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の疾患	発熱(39.0) リンパ節腫脹	6	女	2017/10/25	咽頭拭い液	ライノウイルス

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載